

情報紙 大森まちづくりカフェ

第83号
2025年なつ号

1面：大森 たんぱく宣言

ワタシとまちを元気にする情報紙「大森まちづくりカフェ」

OOMORI CAFE



「♪日々の健康を考えるうえで、言っておきたいことがある〜♪」ワタシたちの体を作る栄養素として欠かせないたんぱく質を、おいしく手軽にとれる店を集めました。さあ、「大森まちづくりカフェ」をもってまちに出よう！
(取材・文＝吉田比呂子・中山良恵)

最新情報はウェブでも！
www.oomori-cafe.com



たんぱく宣言！



1 ステーキ&ハンバーグ SOH

ジャーマン通り沿いにある専門店。国産牛をはじめとしたステーキ、注文を受けてから焼き上げる手ごねハンバーグが味わえる。山形産はえぬきのライスと相性抜群。隣の席とカーテンで仕切られ、ゆったりと自宅のように過ごせる。



大田区山王2-36-9 ☎ 03-6417-1105
11:30～14:00 17:30～22:00
※材料が無くなり次第閉店
④ 水曜
⑤ クレジットカードOK
毎月第2火曜子ども食堂開催中



2 プレートランチナナリー plate lunch Nanary

お弁当テイクアウトのお店。味付け(※)はオリジナル調味料「秘伝のイケだれ」。クセになるうま辛味！ライスプレートと、野菜に置き換え「ヘルシープレート」は良質なたんぱく質を摂りつつ糖質とカロリーをカットできる。



※三色丼(すき焼き味)以外

大田区池上4-32-2 ☎ 03-6410-3985
11:00～18:00
④ 月曜
⑤ 現金もしくはQRコード決済



大森にはまだまだ、「たんぱく質」が楽しめるお店がたくさん！
あなたのめやすがを教えてください。

3 パーソナルジムかたぎり塾 大森女性専門店

人目を気にせずトレーニングできる完全個室型。一人ひとりに合わせたプログラムを運動と食事の面から丁寧にレクチャー。3種の味から選ぶ無料のプロテインがトレーニング後の体に染みわたる。運動苦手な人も大丈夫。健康な体づくりのために、まずは一歩を踏み出そう！



大田区大森北1-25-6 安井ビル1F
☎ 03-6381-6269
平日 10:00～22:00 土日祝 9:00～20:00



4 イタリアン酒場 zaBro

3代続く国産鶏肉と創作イタリアンの店。問屋から直接仕入れる新鮮な相挽きの鶏肉と自家製ソースを用いたこだわりメニューの数々。家族連れから飲み会まであらゆるシーンで、気軽にたんぱく質を摂取できる。大人気の「鶏胸肉のステーキ」をぜひご賞味あれ！



品川区南大井3-27-2 佐藤ビル1F
☎ 03-6423-0908
ランチ 11:00～14:00
ディナー 水木金 18:00～23:00
土日祝 17:00～23:00
④ 火曜
⑤ クレジットカード・電子決済OK



1面のご案内

★まちへのいざない
テーマ別・品別・地域別の魅力を再発見。配布エリアの地図を配布し、まちへのいざないです。

vol.82 2025年2月
大森Mornin' GoodDay
[午前中から楽しめるサービス特集]

vol.81 2024年11月
かぶりつけ大森
[7日にはさんだおもしろの特集]

vol.80 2024年8月
大森朝(ふし)
[新作20年「だし」特集]

vol.79 2024年5月
大森でとろう
[食・汗・夢・体・心とつながる]

「バックナンバーはウェブで！」
www.oomori-cafe.com

4面： ひと

料紙作家 墨流しアーティスト

中井 慎吾 さん

2025 年なつ号 (通巻 83 号)

OOMORI CAFE

(ひと) 0000



@cafeでは大森に
まつわる「ひと」を
クローズアップ。
編集部がその素顔
に迫ります。

「料紙」という伝統工芸品がある。平安時代から使われている、和歌などをつづる装飾紙だ。池上にアトリエを構える中井慎吾さんは、水に墨を落とした模様を和紙に写し取る「墨流し」という技法を使って料紙を作っている。制作に対する思いや今後の展望をうかがった。(取材・文＝野江泰介)

中井慎吾さんは、1979年香川県高松市に生まれた。地元の学校を卒業後、仕事に就いたものの、将来に漠然とした不安を抱えていた。そんな中、美術が得意だったことを思い出して、この道で生きていくことを決意し、制作を開始。さらに体系的に美術を学びたいと考え、2002年単身でニューヨークに渡り美術学校で勉強した。そこで、日本と全く異なるアートシーンが広がっている。ニューヨークにはさまざまな国の出身者が集まり、多様な文化の交流が盛んに行われている。中井さんは、この環境で、料紙の制作を続けることに決意した。



ワークショップでの墨流しの実演



美しい墨流しによる料紙作品

2024年3月、師匠の一人である小室久さんが逝去。後継ぎがいない小室さんの思いを引き継いで作品づくりを続けている。自分を受け継いだバトンを次の世代に継承を今後の目標に掲げている。

【編集後記】■大森万博がスタート。早速行ってみました。大森根リングは圧巻。たくさんのお子さんたちが来ていたのがうれしいですね。■トランプ大統領が関税政策で世界を騒がせている。ビジネスマンの取引手数のかもしれないが、和やかな世界になることを願いたい(お)

【STAFF】
Publisher/Editor in chief 編輯 修
Writer 中山敦史・吉田比呂子(1)
クラカタヒロシ(2)
杉山由紀(3)
野江泰介(4)
中井 慎
高瀬智子
山田智士
津田英子
大森樹子
たかたあや

大森まちづくりカフェ 第83号2025年なつ号
【発行】2025年5月1日(年4回 季刊)
【配布】大森を生活圏とする地域に30,000部
【発行】特定非営利活動法人大森まちづくりカフェ編集部
〒143-0023 東京都大田区山王3-27-6
tel/fax: 03-5935-7881(アンケートの宛先はこちら)
email: office@oomori-cafe.com
【印刷】有限会社三平印刷所
東京都品川区大森 1-10-1 番 03-3493-4011
次号は2025年8月1日発行予定です



@平安文化「料紙」との出会い



料紙作家の中井慎吾さん(写真提供すべて、中井慎吾さん)

第83回

料紙作家・墨流しアーティスト 中井 慎吾さん

なことがあらずかしくシヨックを受けた中井さんは、自分のアイデンティティを確立するために、帰国。一から日本の歴史や文化を学び直すことにした。当分の間は中井さんは図書館に通い、独学で文献を調べ、日本の文化を学ぶ日々が続いた。そこで出会ったのが料紙だ。料紙の起源は平安時代の文化や美術について問われてきた。中井さんは、料紙の起源は平安時代の文化や美術について問われてきた。中井さんは、料紙の起源は平安時代の文化や美術について問われてきた。



が和歌をつづり相手に贈る文化もあったという。日本独自の文化とも結びつく美術に魅せられた中井さんは、「自分の人生で成し遂げるのはこれだ」と心に決め、以後料紙制作の道に進むことになる。3代続く料紙作家である小室久さんから教えるを受け、中井さんは、料紙制作の道に進むことになる。中井さんは、料紙制作の道に進むことになる。

4面のご案内
★ひと
まちで出会った、運命に満ちたひととの素顔に迫ります。次はあなたかー？
vol.82 2025年2月 國 友加菜さん [大森新工業 オーナー]
vol.81 2024年11月 小林 泰博さん [東山荘 おーるうんいずオーナー]
vol.80 2024年8月 吉澤 健治さん 広美さん [ワークショップ wnic]
vol.79 2024年5月 田中 康友さん [職工美術]
*バックナンバーはウェブで! *
www.oomori-cafe.com

DATA
KOTOBUKI Pour Over
大田区池上3-29-16 7層
イベント開催や営業日はこちら→



WEBサイト
https://inkstone-painting.com/



伝統工芸を未来へ紡ぐ

@継承してきた文化を未来へ

料紙の起源は平安時代の文化や美術について問われてきた。中井さんは、料紙の起源は平安時代の文化や美術について問われてきた。

中井さんは、料紙制作の道に進むことになる。中井さんは、料紙制作の道に進むことになる。

中井さんは、料紙制作の道に進むことになる。中井さんは、料紙制作の道に進むことになる。

中井さんは、料紙制作の道に進むことになる。中井さんは、料紙制作の道に進むことになる。